



沼倉 瞳 隊員の 地域おこし協力隊通信

第 5 回科学の祭典 in 石狩に出展しました！

9月12日(土)、石狩市民図書館で開催された「第5回科学の祭典 in 石狩」に、ホタテの稚貝の風鈴づくり体験ブースとして出展しました。科学の祭典とは、子どもたちや市民の方々に科学の面白さや不思議さを体験してもらおうイベントで、この日は、砂糖の不思議を学ぶべっこう飴作りや発電にチャレンジするなど、30もの実験・工作ブースが並びました。

稚貝の風鈴は、ホタテの稚貝を食べるたびに捨てていた貝殻を何かに利用できないかと考え、今年の6月に行われた「スポーツと食の祭典」で厚田のみなさんにお披露目したものです。そうしてできた風鈴は、今年3月に開催した「地域おこし協力隊活動報告会 in 厚田」にて活動報告として展示し、それを



見た図書館職員の方からの打診を受け、出展することとしました。

当日は6回に時間を分けて4名ずつ、計24名の方に体験していただき、ほとんどが小学校低学年の子でした。まず、稚貝は味噌汁の具としてよく使用されることを説明すると、小さい子から「食べたことがある！」の声。目の前にある貝殻と、自身が食べている貝殻が一致したようです。そして厚田でホタテの稚貝が採れることを説明し、実際に製作に入りました。

細い糸を結ぶ作業に苦戦する子もいましたが、全員しっかり作り上げることができ、完成した風鈴をうちわであおいで音を確認、参加者とともに完成を喜びました。同伴のお母さんからも「自宅でも作ってみる」というお話もいただき、いつも捨てられている貝殻が違う視点で見てもらえる良い機会となりました。

カレーサミットに参加しました

9月6日(日)、厚田こだわり隊のみなさんとともに、カレーでまちおこしを行っている北海道の市町村が集まって開催しているイベント、「北海道カレーサミット 2015 in 士別」に参加してきました。厚田こだわり隊も、カレーでまちを元気にしたいという思いを持って、このイベントに参加することを目標にハウス食品さんも交えて、3度のシーフードカレーの試作を重ねてきました。

当日はイベント開始から2時間で、用意した500食のカレーが完売。独特な香りが特徴の士別サフォークカレーや、厚田と同じように海産物を使っている苫小牧ホッキカレーなど、今後の参考にするために他の店舗のカレーの味も確かめることができました。3度の試作、1日かけて行った前日の仕込み作業、そして当日は士別市までの遠征で疲れもピークでしたが、苦労して開発したカレーを順調に販売することができ、心地よい達成感を感じることができました。



鮭の頭と大根の煮つけ

サケ漁が始まりました。さっそくメスの鮭を一本購入し、イクラは醤油漬けに、そして頭の部分は大根とともに煮てみました。

鮭の鼻の部分には透明でプルプルとしたものが詰まっており、食べてみると非常に美味しく、口の中で溶けるような触感でした。この部分は軟骨で「氷頭(ひず)」と呼ばれており、プロテオグリガンという保



湿性に優れた成分を豊富に含み、アンチエイジング効果も期待できるそうです。

おいしくて体にも良い、旬のものを食べることができ環境に感謝です。

ウラ面は小島隊員に続きます！

小島 拓也 隊員の 地域おこし協力隊通信



望来で
一日本屋さんを
開きました

日が短くなり、夜空を見上げる機会が増えてきました。時々、街灯のないところへ出かけ星空を眺めたりしています。札幌で働いていた頃の夜空は星が見えず黒く、空自体も建物のせいで狭いものでしたが、厚田に来て星の明るさに驚かされました。厚田では、邪魔するものがなければ、見上げなくても星が見えるものなのですね。



9月6日、札幌市北区麻生のお寺で開かれた「あさぶおすそわけマーケット」というイベントに出店者として参加し、厚田の豆腐・くんせい・最中などを販売しました。このイベントは、麻生地域とその近くの地域の売り手との触れ合いを増やそうという目的があり、買って下さった方に何らかの「おすそわけ」を差し上げる決まりがあります。私はおすそわけ品として厚田の昆布や野菜をお渡ししました。札幌にお住まいの方にも厚田の名物を知っていて下さる方が多くいらっしゃり、会話が弾みました！4時間の催しでしたが、2時間で完売し、厚田の名物の人気の程を、改めて実感しました。

9月8日、石狩料理飲食店組合の視察で、厚田区の農家さんを案内しました。料理でお客様をおもてなしするにあたり、その食材について生産者の皆さんから学ばせて頂こうと言う企画で、農家さんを紹介する役目を仰せつかりました。参加した方から「生産者の方の想いが伝わり、ためになった。」等の意見を頂き、石狩で厚田の美味しい食材が料理として提供される機会が増えて欲しいと思いました。



9月13日、望来の願誓寺さんで1日本屋さんが開かれました。全道6地域で行われる「北海道ブックフェス」の開催地の一つとして、呼びかけに応じて札幌や東京から出店者が厚田に来てくれました。お客様も石狩市内外からお越し頂き、これを機に初めて厚田に来たという方や、この日に行われた望来獅子舞を見て感動した方もいらっしゃいました。この企画の開催にあたり、石狩市役所・願誓寺さん及びその檀家の皆様・厚田童話を読む会の皆様・石狩市民図書館、厚田区内の様々なお店、その他厚田内外の多くの方に助けて頂きました。本当にありがとうございました！

【毒キノコにご注意を！】

9月19日、厚田公園キャンプ場で、藻岩山さきのこ観察協会の方を講師に迎え、きのこ鑑定教室が行われました。石狩森林ボランティア「クマゲラ」の皆さんと石狩食と農のカレッジの共催で行われたものです。私が採った写真のきのこは「イボテングダケ」という毒キノコとの事。皆様もくれぐれもご注意下さい。



皆様からのご依頼・ご提案をお待ちしております。
携帯電話：080-6069-5304
 E-mail(個人)：ishikarishiatsutakujima@gmail.com
Facebook (フェイスブック)で、
 厚田での暮らしを発信しています！
<https://www.facebook.com/ishikari.chiikiokoshi>

□ □ ウラ面は沼倉隊員に続きます！